

ISSN 0910-9293

# 宮城県保健環境センター年報

平成10年度

ANNUAL REPORT  
OF  
MIYAGI PREFECTURAL INSTITUTE OF PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT

No.17 1999

宮城県保健環境センター

## は　じ　め　に

この度、平成10年度における宮城県保健環境センターの業績を取りまとめ、年報として発刊する運びとなりましたので、ご高覧の上、ご意見を賜れば幸いと存じます。

さて、本センターでは、生活環境汚染物質の一つとして社会的に問題となっているダイオキシンの分析を行うため「特定化学物質検査棟」の整備を進めてまいりましたが、現在、検査設備の整備等来年度当初の検査開始に向けて準備を進めているところです。

ときあたかも、「ダイオキシン類対策特別措置法」が制定され、国をあげてダイオキシン対策に取り組んでいるとき本センターとしても、さらに充実した検査体制を確立していくかなければと考えております。

一方、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(いわゆるPRTR法)の制定に伴い、化学物質の取り扱いについても、万全の対策を講じてまいるなければならない等、研究所としての責務と確実な対応が求められております。

また、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が施行され、その中で地方衛生研究所が感染症の発生の状況、動向、原因の調査及び情報の提供をする感染症情報センターとして位置づけられました。この事業は従来から推進してまいったところですが、本センターが県内全域の基幹感染症情報センターとしての役割を果たすためには、さらに十分な体制の強化が必要であります。

このような状況を踏まえ、本センターとして県民の負託に的確に応えるために、引き続き研鑽に努め調査・研究・分析技術の開発等を通して保健環境行政の円滑な推進に貢献してまいり所存ですので関係機関・団体各位のなお一層のご理解とご指導をお願い申し上げます。

平成11年11月

宮城県保健環境センター

所長 小笠原 久夫

# 目 次

## A 事 業 概 要

### I 総 説

1 沿革	1
2 機構及び業務分担	1
3 職員	2
4 予算及び決算	3
5 主要機械器具	3
6 技術研修	6
7 講師等派遣	7
8 学術情報の収集	8

### II 概 况

1 情報管理部	9
2 微生物部	12
3 理化学部	19
4 環境衛生部	21
5 大気部	23
6 水質部	27

## B 調査研究

### I 論 文

わが国で発生したSRSVによると推定される事例の症状及び潜伏時間の解析の試み	33
阿部 和男	
NO <sub>2</sub> メッシュ濃度推定法の検討	37
高橋 正人 小室 健一 山本 仁	
A型インフルエンザ迅速診断法の検討	41
後藤 郁男 沖村 容子 秋山 和夫 白石 廣行 堀 春美	
宮城県における日本脳炎中和抗体保有状況－ワクチンの効果－	44
沖村 容子 野池 道子 後藤 郁男 秋山 和夫 白石 廣行	
健康人におけるNorwalk-like Virusの侵淫状況	47
野池 道子 後藤 郁男 沖村 容子 秋山 和夫 白石 廣行	
名取 克郎 武田 直和	
散発下痢症患者から分離されたEHEC O157の性状	51
伊藤 友美 有田 富和 斎藤 紀行 御代田 恭子 秋山 和夫	
白石 廣行	

宮城県内における動物由来腸球菌の薬剤耐性保有状況調査	56
－特にバンコマイシン耐性腸球菌保有状況－	
斎藤 紀行 伊藤 友美 御代田 恒子 白石 廣行	
結核菌の遺伝子検査とRFLP解析	60
有田 富和 斎藤 紀行 秋山 和夫 白石 廣行	
農産物中残留農薬の多成分一斉分析法の検討	64
菊地 秀夫 佐藤 勤 山口 剛史 伊藤 孝一	
Nメチルカーバメイト系農薬の同時分析における簡便な精製法の検討	70
氏家 愛子 高橋 紀世子 細矢 義隆 伊藤 孝一	
フォトダイオードアレイ検出器付きHPLCによる食肉中の残留動物用医薬品の 同時分析法の検討	74
氏家 愛子 高橋 紀世子 細矢 義隆 伊藤 孝一	
CNP代替除草剤一斉分析法簡便化の検討とシジミ中の残留実態調査	79
山口 剛史 新目 眞弓 佐藤 勤 細矢 義隆 伊藤 孝一	
室内環境の揮発性化学物質の調査手法の検討	85
阿部 時男 葛岡 勝悦 加藤 謙一 浦山 清 佐々木 ひとえ 助野 典義	
未汚染地下水の県内分布について	87
阿部 時男 清野 茂 高橋 正人 嶋峨 京時 八木 純 渡辺 丈夫	
酸性雨の水平分布構造に関する考察	90
仁平 明 横野 光永 中村 栄一 佐久間 隆 木戸 一博 沢田 和夫	
騒音と大気汚染物質との関係に関する調査研究(1)	95
野村 保 横野 光永 中村 栄一 仁平 明 星川 大介 百川 淑 沢田 和夫	
国立環境研究所との内分泌攪乱化学物質の影響に関する共同研究	99
－宮城県におけるイボニシのインポセックスを中心に－	
佐久間 隆 鈴木 滋 木戸 一博 小野 研一 沢田 和夫	
地下水中等の揮発性有機化合物多成分一斉分析法の検討	102
中村 朋之 阿部 公恵 吾妻 正道 渡部 正弘 八木 純	
火口湖「潟沼」で観測された湖内鉛直分布特性に関する検討	106
清野 茂 八木 純	
宮城県の湖沼(2)－桑沼三湖－	110
清野 茂 中村 朋之 三沢 松子 八木 純	
荒砥沢ダム上流域の河川水質特性　－栗駒火山周辺の水環境（第2報）－	117
清野 茂 中村 朋之 三沢 松子 吾妻 正道 水谷 登志喜 八木 純	

## II 資 料

宮城県における新生児マス・スクリーニング	123
佐藤 由紀 氏家 恭子 泉澤 淳子 白石 廣行	
宮城県における6か月児神経芽細胞腫マス・スクリーニング	125
泉澤 淳子 氏家 恭子 佐藤 由紀 白石 廣行	
宮城県における1歳6か月児神経芽細胞腫マス・スクリーニング	127
氏家 恭子 泉澤 淳子 佐藤 由紀 白石 廣行	
ポリカーボネート製品中ビスフェノールAの材質試験及び溶出試験	129
高橋 紀世子 氏家 愛子 細矢 義隆 伊藤 孝一	
フォトダイオードアレイ検出器付きHPLCによる鮮魚中のモナスクス色素の同定	132
氏家 愛子 高橋 紀世子 細矢 義隆 伊藤 孝一	
平成10年度における理化学部検査結果	134
理化学部	
平成10年度水道水源実態調査 クリプトスピリジウム検査結果	137
葛岡 勝悦 佐々木 ひとえ 浦山 清 加藤 謙一 阿部 時男	
助野 典義	
産業廃棄物最終処分場の黒色排水成分分析結果	140
加藤 謙一 佐々木 ひとえ 浦山 清 葛岡 勝悦 阿部 時男	
助野 典義	
国立環境研究所とのダイオキシン類分析に関する共同研究	142
－大気分析を中心として－	
鈴木 滋	
国立環境研究所とのダイオキシン類分析に関する共同研究	144
－主に底質分析を中心として－	
中村 朋之	
III 調査研究課題一覧	146

## C 研究発表状況

I 他誌論文抄録	147
II 学会発表等	149
III 研究発表会	151